

注3

大学番号：040

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

山梨大学 工学部 機械工学科、電気電子工学科、
コンピュータ理工学科、情報メカトロニクス工学科、
土木環境工学科、応用化学科、先端材料理工学科

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 山梨大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画課

職名・氏名 課長補佐・志村 ^{シムラ}尚紀 ^{ナオキ}

電話番号 055-220-8071

（夜間） 055-220-8071

F A X 055-220-8799

e-mail kikaku@yamanashi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	12
3. 施設・設備の整備状況、経費	48
4. 既設大学等の状況	49
5. 教員組織の状況	50
6. 留意事項等に対する履行状況等	52
7. その他全般的事項	53

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山梨大学

(2) 大学名

山梨大学

(3) 大学の位置

〒400-8510
山梨県甲府市武田4丁目3番11号
(山梨県甲府市武田4丁目4番37号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
		該当なし	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合 (平成26年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部	年	人	3年次人	人	
機械工学科 学士 (工学)	4	55	10	240	
電気電子工学科 学士 (工学)	4	55	5	230	
コンピュータ理工学科 学士 (工学)	4	55	5	230	
情報メカトロニクス工学科 学士 (工学)	4	55	0	220	
土木環境工学科 学士 (工学)	4	55	0	220	
応用化学科 学士 (工学)	4	55	0	220	
先端材料理工学科 学士 (工学)	4	35	0	140	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

機械工学科

対象年度 区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 55 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 55 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 55 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 55 (-) [-]	人 - (-) [-]		
志願者数	237 (-) [6]	- (-) [-]	182 (-) [4]	- (-) [-]	265 (20) [1]	- (-) [-]	176 (24) [5]	- (-) [-]		1.09倍 志願者数、受験者数、合格者数は、政府派遣留学生を含んでいない。 入学者数は政府派遣留学生を含んでいる。
受験者数	161 (-) [6]	- (-) [-]	156 (-) [3]	- (-) [-]	195 (19) [1]	- (-) [-]	147 (22) [4]	- (-) [-]		
合格者数	65 (-) [2]	- (-) [-]	62 (-) [1]	- (-) [-]	65 (10) [0]	- (-) [-]	65 (14) [2]	- (-) [-]		
B 入学者数	62 (-) [4]	- (-) [-]	58 (-) [3]	- (-) [-]	61 (6) [2]	- (-) [-]	61 (4) [4]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.12		1.05		1.10		1.10			

電気電子工学科

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	55 (-) [-]		55 (-) [-]		55 (-) [-]		55 (-) [-]		1.07倍	志願者数、受験者数、合格者数は、政府派遣留学生を含んでいない。 入学者数は政府派遣留学生を含んでいる。
志願者数	191 (-) [7]	- (-) [-]	141 (-) [5]	- (-) [-]	155 (20) [8]	- (-) [-]	139 (15) [-]	- (-) [-]				
受験者数	138 (-) [6]	- (-) [-]	122 (-) [5]	- (-) [-]	130 (20) [8]	- (-) [-]	113 (12) [-]	- (-) [-]				
合格者数	69 (-) [4]	- (-) [-]	64 (-) [4]	- (-) [-]	62 (11) [3]	- (-) [-]	62 (10) [-]	- (-) [-]				
B 入学者数	63 (-) [3]	- (-) [-]	58 (-) [3]	- (-) [-]	57 (6) [1]	- (-) [-]	59 (4) [1]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.14		1.05		1.03		1.07					

コンピュータ理工学科

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	55 (-) [-]		55 (-) [-]		55 (-) [-]		55 (-) [-]		1.07倍	志願者数、受験者数、合格者数は、政府派遣留学生を含んでいない。 入学者数は政府派遣留学生を含んでいる。
志願者数	253 (-) [8]	- (-) [-]	159 (-) [4]	- (-) [-]	186 (21) [7]	- (-) [-]	216 (21) [7]	- (-) [-]				
受験者数	205 (-) [8]	- (-) [-]	133 (-) [4]	- (-) [-]	154 (21) [6]	- (-) [-]	177 (21) [7]	- (-) [-]				
合格者数	65 (-) [3]	- (-) [-]	65 (-) [3]	- (-) [-]	63 (10) [3]	- (-) [-]	64 (10) [3]	- (-) [-]				
B 入学者数	59 (-) [2]	- (-) [-]	63 (-) [3]	- (-) [-]	57 (4) [3]	- (-) [-]	59 (2) [3]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.07		1.14		1.03		1.07					

情報メカトロニクス工学科

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	55 (-) [-]		55 (-) [-]		55 (-) [-]		55 (-) [-]		1.06倍	
志願者数	230 (-) [2]	- (-) [-]	103 (-) [6]	- (-) [-]	121 (2) [4]	- (-) [-]	179 (10) [5]	- (-) [-]				
受験者数	157 (-) [2]	- (-) [-]	89 (-) [6]	- (-) [-]	97 (2) [4]	- (-) [-]	147 (8) [4]	- (-) [-]				
合格者数	62 (-) [2]	- (-) [-]	63 (-) [3]	- (-) [-]	61 (1) [3]	- (-) [-]	65 (1) [3]	- (-) [-]				
B 入学者数	61 (-) [2]	- (-) [-]	60 (-) [2]	- (-) [-]	59 (1) [4]	- (-) [-]	56 (0) [2]	- (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.10		1.09		1.07		1.01					

土木環境工学科

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	55 (-) [-]	人	55 (-) [-]	人	55 (-) [-]	人	55 (-) [-]	人	1.05倍	志願者数、受験者数、合格者数は、政府派遣留学生を含んでいない。 入学者数は政府派遣留学生を含んでいる。
志願者数	169 (-) [21]	-	160 (-) [7]	-	185 (7) [20]	-	215 (9) [11]	-		
受験者数	130 (-) [21]	-	119 (-) [6]	-	151 (7) [18]	-	170 (9) [8]	-		
合格者数	66 (-) [4]	-	66 (-) [4]	-	70 (3) [3]	-	68 (3) [3]	-		
B 入学者数	59 (-) [3]	-	58 (-) [4]	-	58 (1) [2]	-	58 (2) [3]	-		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.05		1.05		1.05			

応用化学科

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	55 (-) [-]	人	55 (-) [-]	人	55 (-) [-]	人	55 (-) [-]	人	1.08倍	志願者数、受験者数、合格者数は、政府派遣留学生を含んでいない。 入学者数は政府派遣留学生を含んでいる。
志願者数	256 (-) [19]	-	205 (-) [21]	-	217 (9) [14]	-	182 (11) [12]	-		
受験者数	194 (-) [18]	-	175 (-) [20]	-	177 (9) [14]	-	149 (11) [11]	-		
合格者数	65 (-) [2]	-	66 (-) [2]	-	66 (5) [2]	-	66 (5) [2]	-		
B 入学者数	61 (-) [2]	-	60 (-) [-]	-	60 (1) [1]	-	59 (0) [2]	-		
入学定員超過率 B/A	1.10		1.09		1.09		1.07			

先端材料理工学科

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	35 (-) [-]	人	35 (-) [-]	人	35 (-) [-]	人	35 (-) [-]	人	1.08倍	
志願者数	162 (-) [2]	-	85 (-) [1]	-	103 (7) [4]	-	91 (8) [2]	-		
受験者数	115 (-) [2]	-	78 (-) [1]	-	85 (7) [4]	-	66 (8) [1]	-		
合格者数	43 (-) [2]	-	42 (-) [1]	-	42 (4) [2]	-	41 (5) [1]	-		
B 入学者数	39 (-) [2]	-	38 (-) [1]	-	36 (2) [2]	-	40 (2) [1]	-		
入学定員超過率 B/A	1.11		1.08		1.02		1.14			

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

機械工学科

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[4] 62	[-] -	[3] 58	[-] -	[2] 61	[-] -	[4] 61	[-] -	平成24年度に入学した学生のうち1名が、平成26年3月31日に他学科(土木環境工学科)へ転出した。
2年次	/		[4] 62	[-] -	[3] 57	[-] -	[2] 61	[-] -	
3年次	/		/		[8] 65	[-] -	[3] 61	[-] -	
4年次	/		/		/		[8] 65	[-] -	
計	[4] 62		[7] 120		[13] 183		[17] 248		

電気電子工学科

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] 63	[-] -	[3] 58	[-] -	[1] 57	[-] -	[1] 59	[-] -	平成24年度に入学した留学生3名のうち1名が、平成24年度途中(5月1日以降)に在留資格の変更を行ない、平成25年5月1日現在において1名減となった。
2年次	/		[2] 62	[-] -	[3] 58	[-] -	[1] 56	[-] -	
3年次	/		/		[2] 68	[-] -	[2] 61	[-] -	
4年次	/		/		/		[2] 66	[-] -	
計	[3] 63		[5] 120		[6] 183		[6] 242		

コンピュータ理工学科

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 59	[-] -	[3] 63	[-] -	[3] 57	[-] -	[3] 59	[-] -	
2年次	/		[2] 59	[-] -	[3] 63	[-] -	[3] 56	[-] -	
3年次			/		/		[2] 63	[-] -	[2] 63
4年次	/						/		[2] [-] 60 -
計			[2] 59		[5] 122				[8] 183

情報メカトロニクス工学科

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 61	[-] -	[2] 60	[-] -	[4] 59	[-] -	[2] 56	[-] -	
2年次	/		[2] 61	[-] -	[2] 60	[-] -	[4] 59	[-] -	
3年次			/		/		[2] 61	[-] -	[2] 57
4年次	/						/		[2] [-] 61 -
計			[2] 61		[4] 121				[8] 180

土木環境工学科

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] 59	[-] -	[4] 58	[-] -	[2] 58	[-] -	[3] 58	[-] -	
2年次	/		[3] 59	[-] -	[4] 58	[-] -	[1] 57	[-] -	
3年次			/		/		[3] 61	[-] -	[4] 60
4年次	/						/		[3] [-] 59 -
計			[3] 59		[7] 117				[9] 177

平成24年度に入学した学生のうち1名が、平成26年4月1日に他学科（機械工学科）から転入した。

応用化学科

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 61	[-] -	[-] 60	[-] -	[1] 60	[-] 1	[2] 59	[-] -	平成24年度に入学した留学生2名のうち1名が、平成24年度途中（5月1日以降）に在留資格の変更を行ない、平成25年5月1日現在において1名減となった。 平成26年10月1日に1名が1年次へ再入学した。
2年次	/		[1] 60	[-] -	[-] 60	[-] -	[1] 60	[-] 1	
3年次			/		/		[1] 58	[-] -	
4年次	/						/		
計			[2] 61	[1] 120	[2] 179	[4] 238			

先端材料理工学科

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 39	[-] -	[1] 38	[-] -	[2] 36	[-] -	[1] 40	[-] -	
2年次	/		[2] 39	[-] -	[1] 38	[-] -	[2] 36	[-] -	
3年次			/		/		[2] 41	[-] -	
4年次	/						/		
計			[2] 39	[3] 77	[5] 115	[6] 156			

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

機械工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	62 人	2 人	平成24年度	0 人	0 人	・除籍(1人) ・その他(1人)	3.2 %
			平成25年度	2 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	58 人	1 人	平成25年度	1 人	0 人	・就学意欲の低下	1.7 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	61 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	61 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	242 人	3 人					1.2 %

電気電子工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	63 人	3 人	平成24年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学	4.8 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	2 人	0 人		
平成25年度 入学者	58 人	1 人	平成25年度	0 人	0 人		1.7 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	1 人	1 人		
平成26年度 入学者	57 人	1 人	平成26年度	0 人	0 人		1.8 %
			平成27年度	1 人	0 人		
平成27年度 入学者	59 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	237 人	5 人					2.1 %

コンピュータ理工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	59 人	3 人	平成24年度	0 人	0 人	・他の教育機関への入学(2人) ・就職(1人)	5.1 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	3 人	0 人		
平成25年度 入学者	63 人	2 人	平成25年度	0 人	0 人	・学生個人の心身に関する事情(1人) ・除籍(1人)	3.2 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	2 人	1 人		
平成26年度 入学者	57 人	1 人	平成26年度	0 人	0 人	・他の教育機関への入学	1.8 %
			平成27年度	1 人	0 人		
平成27年度 入学者	59 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	238 人	6 人					2.5 %

情報メカトロニクス工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	61 人	1 人	平成24年度	0 人	0 人	・その他	1.6 %
			平成25年度	1 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	60 人	3 人	平成25年度	0 人	0 人	・他の教育機関への入学(2人) ・就学意欲の低下(1人)	5.0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	3 人	0 人		
平成26年度 入学者	59 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	56 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	236 人	4 人					1.7 %

土木環境工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	59 人	2 人	平成24年度	0 人	0 人	・家庭の事情(1人) ・学生個人の心身に関する事情(1人)	3.4 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	2 人	0 人		
平成25年度 入学者	58 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	58 人	1 人	平成26年度	0 人	0 人	・他の教育機関への入学	1.7 %
			平成27年度	1 人	1 人		
平成27年度 入学者	58 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	233 人	3 人					1.3 %

応用化学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	61 人	4 人	平成24年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学 ・他の教育機関への入学(1人) ・就学意欲の低下(1人)・その他(1人)	6.6 %
			平成25年度	3 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	60 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	60 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	59 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	240 人	4 人					1.7 %

先端材料理工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	39 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	38 人	1 人	平成25年度	0 人	0 人		2.6 %
			平成26年度	0 人	0 人		
			平成27年度	1 人	0 人	・除籍	
平成26年度 入学者	36 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	40 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	153 人	1 人					0.7 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 機械工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	別紙(39頁~45頁)のとおり											
基礎ゼミ	機械工学基礎ゼミ	1前	2			6 5 7	7 6 5		6 5 6	1	兼1	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
基礎教育	微分積分学Ⅰ	1前	2			1					兼4	専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	微分積分学Ⅱ	1後		2		1					兼4	専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	線形代数学Ⅰ	1前	2			1					兼1	専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	線形代数学Ⅱ	1後		2		1					兼1	専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	微分方程式	2前		2		1					兼1 0	専任教員の異動により変更(25)
	応用数学	2後		2			1					
	複素関数論	3前		2		1	1					
	情報処理及び実習	1前		2		1	1		1			
	確率統計学	2前	2			1 1	1				兼1 0	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 担当教員の見直しのため(25)
	数値計算及び実習	3前		2			1					
	基礎物理学Ⅰ	1前	2			1	1				兼1 0	専任教員の異動により変更(26) 授業運営上の都合により教員変更(24)
	基礎物理学Ⅱ	1後		2		1					兼1 0	専任教員の異動により変更(26)
	応用物理学	2前		2		1	1					担当教員の見直しのため(25)
	基礎化学	1前		2							兼1	
	コミュニケーション	3前		2							兼1	
	技術英語Ⅰ	3後	2	2							兼1	教育効果の観点から単位区分変更(24)
	技術者倫理	3後	2	2							兼1	
	幸福・福祉概論	1前	2							1	兼1	
	基礎工学	機械工学デザインⅠ	1後	1			1	1		1		
機械工学デザインⅡ		2前	1				1		1			
機械工学デザインⅢ		2後	1				2 1					教育内容充実のため(25)
ものづくり実習Ⅰ		2前	1			1	1				兼1 0	担当教員の見直しのため(26)
ものづくり実習Ⅱ		2後	1			1	1				兼1 0	担当教員の見直しのため(26)
機械工学実験Ⅰ		3前	1			6 5 7	7 6 5		6 5 6	1	兼1	専任教員の異動により変更(27) 教育内容充実のため(26) 専任教員の異動により変更(24)
機械工学実験Ⅱ		3後	1			6 5 7	7 6 5		6 5 6	1	兼1	専任教員の異動により変更(27) 教育内容充実のため(26) 専任教員の異動により変更(24)
材料力学Ⅰ		2前		2		1	1					専任教員の異動により変更(25)
機械力学		2前 1後		2			1					教育効果の観点から配当年次を変更(24)
熱力学		2前		2		1						
材料力学Ⅱ		2後		2		1	1					専任教員の異動により変更(25)
材料の科学Ⅰ		2後		2		1	1					専任教員の異動により変更(25)
振動工学		2後 2前		2			1					教育効果の観点から配当年次を変更(24)
流体工学Ⅰ		2後		2			1					
伝熱工学		2後		2			1					専任教員の異動により変更(25)
加工学Ⅰ		2後		2		1						
機械要素設計		3前		2			1					
材料の科学Ⅱ		3前		2			1					
制御工学Ⅰ		3前		2			1					
流体工学Ⅱ		3前		2			1	1				専任教員の異動により変更(25)
熱エネルギー変換工学		3前		2			1					
加工学Ⅱ		3前		2			1	1				専任教員の異動により変更(25)
電気電子工学		3前		2							兼1	
情報システムと社会Ⅰ	2前		2							兼2 1	担当教員の見直しのため(25)	
組込み設計	2前		2							兼1 2 1	兼担教員の異動により変更(26) 担当教員の見直しのため(25)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
応用工学	バイオメカニクス	3前		2		+	+				兼1 0	専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25)
	自動車工学	3前		2		1 +	+				兼1 0	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 担当教員の見直しのため(25)
	材料力学Ⅲ	3前 3後		2			1					教育効果の観点から配当年次を変更(24)
	塑性加工	3後		2		1						
	表面処理工学	3後		2		1						
	制御工学Ⅱ	3後		2		1						
	流体工学Ⅲ	3後		2			1					
	航空宇宙工学	3後		2		+	1					専任教員の異動により変更(26)
	原子力工学	3後		2		1						
	技術英語Ⅱ	4前	2			6 7	7 5					担当教員の見直しのため(27)
	電池工学	3前		2							兼4 1	担当教員の見直しのため(26)
	電気エネルギー変換工学	3前		2							兼2 1	担当教員の見直しのため(26)
	コンピュータネットワーク	3前		2							兼1	
	運動の力学Ⅱ	3前		2							兼3 1	担当教員の見直しのため(26)
	システム設計	3前		2							兼1	
	マルチメディア工学	3前		2							兼2 1	担当教員の見直しのため(26)
	量子光学	3前		2							兼1	
電子デバイス工学Ⅱ	3後		2							兼1	誤記により訂正(24)	
電子デバイス工学	3後		2									
特殊研究	インターンシップⅠ	2・3・4通		1			1					
	インターンシップⅡ	2・3・4通		1			1					
	PBLものづくり実践ゼミ	3後		2							兼2	
	機械工学演習	3後		1		6 5 7	7 6 5		6 5 6	1	兼1	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
	リスク管理・危機管理概論	2後		2							兼1	
	ベンチャービジネス論	4前		2							兼1	
	特別講義	4後		1		1	1				兼1	担当教員の見直しのため(27)
機械工学卒業論文	4通	6			6 5 7	7 6 5		6 5 6	1	兼1	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)	
その他	リーダー養成特別演習1	1後			1		+				兼4	担当教員の見直しのため(25) 履修者がいないため未開講(24)
	リーダー養成特別演習2	2前			1						兼4 8	担当教員の見直しのため(25) 履修者がいないため未開講(25)
	リーダー養成特別演習3	3前			1		+				兼4	履修者がいないため未開講(26) 担当教員の見直しのため(25)
	リーダー養成特別インターンシップ1	1通			1						兼4	履修者がいないため未開講(24)
	リーダー養成特別インターンシップ2	2通			1						兼4 8	担当教員の見直しのため(25) 履修者がいないため未開講(25)
	リーダー養成特別インターンシップ3	3通			1						兼4	履修者がいないため未開講(26)
	キャリア形成実習1	2前			1	6 5 7	7 6 5		6 5 6	1	兼1	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習2	2後			1	6 5 7	7 6 5		6 5 6	1	兼1	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習3	3前			1	6 5 7	7 6 5		6 5 6	1	兼1	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習4	3後			1	6 5 7	7 6 5		6 5 6	1	兼1	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
	工業科教育法Ⅰ	3前			2						兼1	
	工業科教育法Ⅱ	3後			2						兼1	
	教職実践演習(高)	4後			2						兼3	課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27)
高等学校教育実習	4前			3						兼2	課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27)	
職業指導第一	4前・後			2						兼1		
職業指導第二	4前・後			2						兼1		

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。

- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
17	53	16	86	16	54	14 16	84 86	
				[Δ1]	[1]	[Δ2]	[Δ2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学部 電気電子工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	別紙 (39頁~45頁) のとおり											
基礎ゼミ	電気電子工学基礎ゼミ	1前	2			8 7 6	8 6 7 8 6		5 3 5			専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
基礎教育	微分積分学Ⅰ	1前	2						1			
	微分積分学Ⅱ	1前	2					1	1			専任教員の異動により変更(24)
	基礎解析学	2前		2		1						
	線形代数学Ⅰ	1前	2			1						
	線形代数学Ⅱ	1後		2		1						
	応用解析Ⅰ	1後	2			1	1					専任教員の異動により変更(25)
	応用解析Ⅱ	2前		2		1 1					0 兼 1 0	兼担教員の異動により変更(26) 担当教員の見直しのため(25)
	情報処理及び実習	1前		3			1		1			
	基礎物理学Ⅰ	1前	2				1		1			専任教員の異動により変更(24)
	基礎物理学Ⅱ	1後		2		1						
	物理学実験	2前		2			4 2 1			1		担当教員の見直しのため(27) 専任教員の異動により変更(24)
	基礎化学	1前		2			2 1					授業運営上の都合により教員変更(27) 授業運営上の都合により教員変更(24)
	化学実験	2前		2							兼 5 2	担当教員の見直しのため(25)
	科学の作法	1後	2			2 1 2	2 3 2					専任教員の異動により変更(26) 担当教員の見直しのため(25)
	基礎統計学及び実習	1後		2		1						
	コミュニケーションⅠ	3前	2			1						
コミュニケーションⅡ	3後		2		1			1		兼 1	担当教員の見直しのため(26)	
基礎工学	基礎電気理論	1前	2			1						
	基礎電気理論演習	1前		1		1						教育効果の観点から科目を追加(25)
	基礎電気電子工学実験	1後	2			8 7 6	8 6 7 8 6		5 3 5			専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	プログラミングⅠ及び実習	1後	2				1		1			専任教員の異動により変更(24)
	プログラミングⅡ及び実習	2前		2			1		1			専任教員の異動により変更(25)
	デジタル回路	1後	2			1						
	マテリアルサイエンス	1後	2				1					
	電気回路Ⅰ	2前	2			1	1					専任教員の異動により変更(25)
	電気回路Ⅰ演習	2前		1		1	1					専任教員の異動により変更(25)
	電気回路Ⅱ	2後	2			1						
	電子回路Ⅰ	2後	2				1					
	電子回路Ⅰ演習	2後		1			1					
	電磁気学Ⅰ	2前	2			1						
	電磁気学Ⅰ演習	2前		1		1						
	電磁気学Ⅱ	2後	2			1						
	電子デバイス工学Ⅰ	3前	2				2 1					授業運営上の都合により教員変更(27)
	電子デバイス工学Ⅰ演習	3前		1			2 1					授業運営上の都合により教員変更(27)
	システム制御工学Ⅰ	2後	2			1						
	システム制御工学Ⅰ演習	2後		1		1						
	信号とシステム	1後	2			1						
	信号とシステム演習	1後		1		1						
	情報通信Ⅰ	3前	2			1	1					専任教員の異動により変更(26)
	情報通信Ⅰ演習	3前		1		1	1					専任教員の異動により変更(26)
技術者倫理	3後	2			1					兼 1 0	担当教員の見直しのため(25)	
電気電子工学実験Ⅰ	2後	2			1	3 1 2		1			担当教員の見直しのため(27) 専任教員の異動により変更(25)	
電気電子工学実験Ⅱ	3前	2			1	1 2		1			専任教員の異動により変更(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
応用工学	プログラミングⅢ及び実習	2後		2		1						
	計算機アーキテクチャ	2前		2		1						
	コンピュータ制御及び実習	3前		3		1			2		兼1	担当教員の見直しのため(27) 専任教員の異動により変更(26)
	電子回路Ⅱ	3前		2			1					
	情報通信Ⅱ	3後		2		1	1					専任教員の異動により変更(26)
	計測センシング工学	3前		2			1					
	電気エネルギー変換工学	3前		2		1			1			担当教員の見直しのため(26)
	量子力学	3前		2		1						
	電池工学	3前		2							兼4	担当教員の見直しのため(26)
	電子デバイス工学Ⅱ	3後		2			1					
	システム制御工学Ⅱ	3後		2		1						
	光波動工学	3後		2			1					
	量子工学	3後		2			1					
	エンジニアリングデザイン	3前		2		1	1					専任教員の異動により変更(26)
	電子応用実験	3後	2				5 3			2		担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	電気応用実験	3後	2			1	1			3 2		担当教員の見直しのため(26)
	パワーエレクトロニクス	4前		2		1						
	自動車工学	4前		2							兼1	
	航空宇宙工学	4後		2							兼1	
	コンピュータネットワーク	4前		2							兼1	
	組込み設計	4前		2							兼2	担当教員の見直しのため(25)
	運動の力学Ⅱ	4前		2							兼3	担当教員の見直しのため(25)
	システム設計	4前		2							兼1	
量子光学	4前		2							兼1		
マルチメディア工学	4前		2							兼2	担当教員の見直しのため(26)	
特殊研究	機械加工及び実習	3前		2							兼1	
	通信法規	4前		1							兼1	
	電気法規及び電気施設管理	4前		1							兼1	
	高電圧工学	3後		2		1						
	電機制御工学	3後		2			1					誤記により訂正(24)
	電気設計製図	4前		2		1					兼1	
	ベンチャービジネス論	4前		2							兼1	
	インターンシップⅠ	2・3・4通		1		1						
	インターンシップⅡ	2・3・4通		1		1						
	電気電子工学研修Ⅰ	4前	1				8			5		教育効果の観点及び授業運営上の都合により配当年次を変更(27) 専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	電気電子工学研修Ⅱ	4後	1			8	6		3			
電気電子工学研修	4通	2			7	7		5				
電気電子工学卒業論文	4通	6			8	6		5	3		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)	
その他	実践ものづくり実習	1後			1						兼1	
	PBLものづくり実践ゼミ	3後			2						兼2	
	リーダー養成特別演習1	1後			1		1				兼4	通常開講(26) 担当教員の見直しのため(25) 履修者がいないため非開講(24)
	リーダー養成特別演習2	2前			1	2					兼4	通常開講(26) 担当教員の見直しのため(25) 履修者がいないため非開講(25)
	リーダー養成特別演習3	3前			1	1					兼4	担当教員の見直しのため(25)
	リーダー養成特別インターンシップ1	1通			1						兼4	通常開講(26) 履修者がいないため非開講(24)
	リーダー養成特別インターンシップ2	2通			1	2					兼4	通常開講(26) 担当教員の見直しのため(25) 履修者がいないため非開講(25)
	リーダー養成特別インターンシップ3	3通			1	1					兼4	担当教員の見直しのため(25)
	キャリア形成実習1	2前			1	8	6		5	3		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習2	2後			1	8	6		5	3		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
その他	キャリア形成実習 3	3 前			1	8 7 6	8 6 7 8 6		5 3 5		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習 4	3 後			1	8 7 6	8 6 7 8 6		5 3 5		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	電力発生工学	3 後			2	4				兼 1 0	担当教員の見直しのため(26)
	電力伝送工学	4 前			2	4				兼 1 0	担当教員の見直しのため(26)
	工業科教育法 I	3 前			2					兼 1	
	工業科教育法 II	3 後			2					兼 1	
	教職実践演習(高)	4 後			2					兼 3	課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27)
	高等学校教育実習	4 前			3					兼 2	課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27)
	職業指導第一	4 前・後			2					兼 1	
職業指導第二	4 前・後			2					兼 1		

- (注) ・ 設置計画書の様式第 2 号(その 2 の 1) に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成 27 年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成 19 年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
29	50	20	99	30 29	51	18 20	99 100	
				[1]	[1]	[Δ2]	[-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学部 コンピュータ理工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 共通 教育 科目	別紙(39頁~45頁)のとおり												
基礎 ゼミ	コンピュータ理工学基礎ゼミ	1前	2			8 7 8 6	7 8 9 8 9		5			専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)	
基礎 教育	微分積分学Ⅰ	1前	2			4			1		兼 2 1	担当教員の見直しのため(27) 専任教員の異動により変更(26)	
	微分積分学Ⅱ	1後		2			1						
	線形代数学Ⅰ	1前	2			1							
	線形代数学Ⅱ	1後		2			1						
	確率統計及び演習Ⅰ	1前	2			1							
	確率統計及び演習Ⅱ	1後		2		1							
	離散数学	1後	2			1							
	物理学Ⅰ	1前		2		1							
	物理学Ⅱ	1後		2		1	4					専任教員の異動により変更(27)	
	基礎電気理論	2前		2		1							
	情報理論	2前		2		1							
	情報処理及び実習	1前	3					1		1			
	プログラミング基礎	1前	2					1					
	プログラミング基礎演習	1前	1							1			
	プログラミング応用	1後	2					1					
	プログラミング応用演習	1後	1					4		1		担当教員の見直しのため(27) 専任教員の異動により変更(25)	
コンピュータ理工学概論	1後	2				8 7 8 6	7 8 9 8 9		5		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)		
科学技術英語	3後	2			1								
基礎 工学	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	2前	2			1	4					専任教員の異動により変更(26)	
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ演習	2前	1			1	4		1			専任教員の異動により変更(26) 教育内容充実のため(25)	
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	2後		2		1							
	ソフトウェア設計開発演習Ⅰ	3前	2				1						
	計算機アーキテクチャⅠ	1後	2			1	4					専任教員の異動により変更(26)	
	計算機アーキテクチャⅠ演習	1後	1						1				
	計算機アーキテクチャⅡ	2前		2		1							
	ハードウェア基礎実験	2前		2				2 4		4			専任教員の異動により変更(25)
	データベース及び演習	2前	2					1					
	オペレーティングシステム	2後	2			4	1					専任教員の異動により変更(25)	
	オペレーティングシステム演習	2後	1					1		1		専任教員の異動により変更(25)	
	コンピュータネットワーク	3前	2			1	4					専任教員の異動により変更(26)	
	コンピュータネットワーク実習	3前		2		1				1 2 4		担当教員の見直しのため(27) 教育内容充実のため(26)	
	ITシステム開発実習	3後		1				1					
	ソフトウェア工学及び演習Ⅰ	2後	2			1	4					専任教員の異動により変更(27)	
	ソフトウェア工学及び演習Ⅱ	3前		2				1					
	ソフトウェアプロジェクト管理	3前		2		1	4					専任教員の異動により変更(27)	
	ソフトウェア設計開発演習Ⅱ	3後	2			1	4		1			専任教員の異動により変更(26)	
	プログラミング言語論	2後	2					1					
	ヒューマンコンピュータインタラクション	3前		2		1	4					専任教員の異動により変更(26)	
	コンピュータグラフィックス	2後	2					1					
	コンピュータグラフィックス演習	2後	1					1		1 4		教育内容充実のため(26) 専任教員の異動により変更(25)	
	情報システムと社会Ⅰ	2前	2					1			兼 1 0	担当教員の見直しのため(25)	
情報システムと社会Ⅱ	2後		2		1	4					専任教員の異動により変更(26)		
形式言語とコンパイラ	3後 3前		2				1				教育効果の観点から配当年次を 変更(26)		
論理と形式手法	3前		2		1								
数値計算	3前		2				1						
リスク管理・危機管理概論	3後		2							兼 1			
総合科目1	3前 3後		2		1	4			4		担当教員の見直しのため(27) 教育効果の観点から配当年次を 変更(26)		
総合科目2	3後		2		8 7 4	7 8 4		5	4		専任教員の異動により変更(27) 教育内容充実のため(26)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
応用工学	ビジュアルコンピューティング	3前		2		1							
	感性情報工学	3後		2			1						
	感性情報処理演習	3後		1			1			2		担当教員の見直しのため(27) 教育内容充実のため(26)	
	知的システムⅠ	3前		2				1					
	知的システムⅡ	3後		2		1							
	知的システム演習	3後		1		1				1		担当教員の見直しのため(26)	
	デジタル信号処理	3後		2		1							
	組込みシステム	3前		2		1	1					担当教員の見直しのため(26)	
	組込み情報処理演習	3後		1						1			
	ベンチャービジネス論	4前		2							兼1		
	品質管理概論	4前		2			1						
	組込み設計	2前		2							兼1 兼2 兼4	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)	
	自動車工学	3前		2							兼1		
	電気エネルギー変換工学	3前		2							兼2 兼4	担当教員の見直しのため(26)	
	運動の力学Ⅱ	3前		2							兼2 兼3 兼4	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(25)	
	システム設計	3前		2							兼1		
	マルチメディア工学	3前		2							兼2 兼4	担当教員の見直しのため(26)	
電子デバイス工学Ⅱ 電子デバイス工学Ⅱ	3後		2							兼1	誤記により訂正(24)		
航空宇宙工学	3後		2							兼1			
特殊研究	特別講義Ⅰ	1・2・3・4通		2		1						教育効果の観点から配当年次を変更(24)	
	特別講義Ⅱ	1・2・3・4通		2		1						教育効果の観点から配当年次を変更(24)	
	実践ものづくり実習	1後		1							兼1		
	PBLものづくり実践ゼミ	3後		2							兼2		
	インターンシップⅠ	2・3・4通		1		1							
	インターンシップⅡ	2・3・4通		1		1							
	コンピュータ理工学工学研修Ⅰ	4前・後	1			8 7 8 8 6	7 8 9 8 9			5		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)	
	コンピュータ理工学工学研修Ⅱ	4前・後	1			8 7 8 8 6	7 8 9 8 9			5		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)	
	コンピュータ理工学卒業論文	4通	6			8 7 8 8 6	7 8 9 8 9			5		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)	
	その他	リーダー養成特別演習1	1後			1		1				兼4 兼5	担当教員の見直しのため(25) 履修者がいないため非開講(24)
リーダー養成特別演習2		2前			1	1					兼4 兼7	担当教員の見直しのため(25) 履修者がいないため未開講(25)	
リーダー養成特別演習3		3前			1						兼4	履修者がいないため未開講(26)	
リーダー養成特別インターンシップ1		1通			1						兼4 兼5	担当教員の見直しのため(25) 履修者がいないため非開講(24)	
リーダー養成特別インターンシップ2		2通			1	4					兼4 兼7	担当教員の見直しのため(25) 履修者がいないため未開講(25)	
リーダー養成特別インターンシップ3		3通			1						兼4	履修者がいないため未開講(26)	
キャリア形成実習1		2前			1	8 7 8 8 6	7 8 9 8 9			5		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)	
キャリア形成実習2		2後			1	8 7 8 8 6	7 8 9 8 9			5		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)	
キャリア形成実習3		3前			1	8 7 8 8 6	7 8 9 8 9			5		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)	
キャリア形成実習4		3後			1	8 7 8 8 6	7 8 9 8 9			5		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)	
代数学		2前			2							兼1	
幾何学		2後			2							兼1	
情報科教育法Ⅰ	3前			2							兼1		
情報科教育法Ⅱ	3後			2							兼1		
中等数学科教育法Ⅰ	3前			2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
その他	教職実践演習(高)	-4後			2							兼3 課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27)
	高等学校教育実習	-4前			3							兼2 課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27)
	情報と職業	3後			2	1						兼1 担当教員の見直しのため(27)

- (注)
- ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
30	47	18	95	30	47	16 18	93 95	
				[0]	[0]	[Δ2]	[Δ2]	

- (注)
- ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
 - ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学部 情報メカトロニクス工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	別紙(39頁~45頁)のとおり											
基礎ゼミ	情報メカトロニクス工学基礎ゼミ	1前	2			7 6	8 9 10 9			6 4 5 6		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
基礎教育	線形代数学Ⅰ	1前	2			1					兼1	専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	線形代数学Ⅱ	1後		2		1					兼1	専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	解析学	2後		2		1	1					専任教員の異動により変更(27)
	微分方程式	2前		2		1						
	微分積分学Ⅰ	1前	2			1					兼4	専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	微分積分学Ⅱ	1後		2		1					兼4	専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	情報処理及び実習	1前	2			1	1		1			専任教員の異動により変更(26) 授業運営上の都合により教員変更(24)
	プログラミング入門	1前	2			1	1		1	1		担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(25) 授業運営上の都合により教員変更(24)
	情報理論	2前		2		1	1					専任教員の異動により変更(26) 教育内容充実のため(25)
	確率・統計学	2前	2				1					
	コミュニケーション	2後	2								兼1	
	基礎物理学Ⅰ	1前		2			1	1				
	基礎物理学Ⅱ	1後		2			1					
	基礎物理学Ⅲ	2前		2			1	1				担当教員の見直しのため(25)
	基礎化学	1後		2			1				兼1	担当教員の見直しのため(25)
科学の作法	1前	2			2 1	3 1 2			1		専任教員の異動により変更(27) 授業運営上の都合により教員変更(24)	
物理学実験	1前	2			2 1	1 2 1			2 1 4		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(25) 授業運営上の都合により教員変更(24)	
技術者倫理	2後	2								兼1		
基礎工学	情報メカトロニクス工学実習Ⅰ	1後	2			1	2 1			0 1 2	兼1	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	情報メカトロニクス工学実習Ⅱ	2前	2			1				1 2		担当教員の見直しのため(27)
	情報メカトロニクス工学実習Ⅲ	2後	2			0 1	1			2 1 2	兼1 0	担当教員の見直しのため(26) 専任教員の異動により変更(25)
	情報メカトロニクス工学実験Ⅰ	3前	2			7 1	8 1			6 4 5 6		専任教員の異動により変更(27) 担当教員見直しのため(26) 専任教員の異動により変更(24)
	情報メカトロニクス工学実験Ⅱ	3後	2			7 1	8 1			6 4 5 6		専任教員の異動により変更(27) 担当教員見直しのため(26) 専任教員の異動により変更(24)
	科学技術英語	4前	2			7 6	8 9 10 9			6 4 5 6		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	情報メカトロニクス製図	2前	2			1	1			1 1		担当教員の見直しのため(25) 専任教員の異動により変更(24)
	材料と力学Ⅰ	1前		2						2 1		教育内容充実のため(25)
	材料と力学Ⅱ	1後		2						2 1		教育内容充実のため(25)
	機械要素Ⅰ	2前		2			1					
	流れの科学	3後		2			1				兼1	担当教員見直しのため(27)
	運動の力学Ⅰ	2後		2			1	2 1		1		担当教員見直しのため(26)
	運動の力学Ⅰ演習	2後		1			1	1 2 1		1 1		担当教員見直しのため(26) 専任教員の異動により変更(24)
	信号とシステム	1前		2				1				
	信号とシステム演習	1前		1				1		1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎工学	アナログ回路Ⅰ	2前		2		1					兼1 0	担当教員見直しのため(27) 教育内容充実のため(26)
	デジタル回路Ⅰ	3前		2		1	1					専任教員の異動により変更(25)
	アナログ回路Ⅱ	2後		2		1	1			1		専任教員の異動により変更(25)
	計測とセンサ	1後		2		1	2					専任教員の異動により変更(25)
	組込みプログラミングⅠ	1後		2		1	1					専任教員の異動により変更(25)
	組込みプログラミングⅠ演習	1後		2		1	1			1		専任教員の異動により変更(25)
	組込みソフトウェア構成法	2後		2		1	1					専任教員の異動により変更(26) 教育内容充実のため(25)
	組込み設計	2前		2		1	1					専任教員の異動により変更(26) 教育内容充実のため(25)
	組込み設計演習	2後		1			1			1		専任教員の異動により変更(25)
組込みアーキテクチャ	3前		2		1	1					専任教員の異動により変更(25)	
応用工学	システム制御工学	3前	2			1 2 1						専任教員の異動により変更(27) 担当教員の見直しのため(26)
	システム制御工学演習	3前	1							1		
	情報メカトロニクス工学演習	3後	1			7 6	8 9 10 9			6 4 5 6		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	機械要素Ⅱ	3前		2		1	1					
	機械加工工学	3後		2			1					
	システム設計	3前		2			1					
	デジタル回路Ⅱ	3後		2		1	1					専任教員の異動により変更(25)
	組込みプログラミングⅡ	2前		2		1				1		
	コンピュータ制御	3後		2		1	1					専任教員の異動により変更(26)
	運動の力学Ⅱ	3前		2		1	1			1		教育内容充実のため(25)
	マルチメディア工学	3前		2		1					兼1 0	担当教員の見直しのため(26)
	数値計算	3後		2		1						
	デバイス工学	3後		2		1	1					専任教員の異動により変更(25)
	品質管理・安全	3後		2		2 1	1 2 1			1		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(25)
	電池工学	3前		2							兼4 1	担当教員の見直しのため(26)
	自動車工学	3前		2							兼1	
	航空宇宙工学	3後		2							兼1	
	電気エネルギー変換工学	3前		2							兼2 1	担当教員の見直しのため(26)
	電子デバイス工学Ⅱ	3後		2							兼1	
	コンピュータネットワーク	3前		2							兼1	
情報システムと社会Ⅰ	2前		2							兼2 1	担当教員の見直しのため(25)	
特殊研究	実践ものづくり実習	1後		1							兼1	
	インターンシップⅠ	2・3・4通		1			1					
	インターンシップⅡ	2・3・4通		1			1					
	リスク管理・危機管理概論	3後		2							兼1	
	ベンチャービジネス論	4前		2							兼1	
	PBLものづくり実践ゼミ	3後		2							兼2	
	情報メカトロニクス工学実践	4前	2			1	1			1		担当教員の見直しのため(27) 専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
情報メカトロニクス工学卒業論文	4通	6			7 6	8 9 10 9			6 4 5 6			
その他	キャリア形成実習1	2前			1	7 6	8 9 10 9			6 4 5 6		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習2	2後			1	7 6	8 9 10 9			6 4 5 6		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習3	3前			1	7 6	8 9 10 9			6 4 5 6		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習4	3後			1	7 6	8 9 10 9			6 4 5 6		専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	工業科教育法Ⅰ	3前			2						兼1	
	工業科教育法Ⅱ	3後			2						兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
その他	教職実践演習(高)	-4後			2							兼3	課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27)
	高等学校教育実習	-4前			3							兼2	
	職業指導第一	4前・後			2							兼1	
	職業指導第二	4前・後			2							兼1	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
22	51	10	83	22	51	8 10	81 83	
				[0]	[0]	[Δ2]	[Δ2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学部 土木環境工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	別紙(39頁~45頁)のとおり											
基礎ゼミ	土木環境工学基礎ゼミ	1前	2			4 5 6 9	7 9 8 11		4 2 3		兼6 5	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
基礎教育	線形代数学Ⅰ	1前		2							兼1	
	線形代数学Ⅱ	1後		2							兼1	
	微分積分学Ⅰ	1前		2							兼4	
	微分積分学Ⅱ	1後		2							兼4	
	基礎数学及び演習	1後		2							兼1	
	微分方程式Ⅰ	2前		2							兼1	
	微分方程式Ⅱ	2後		2							兼1	
	基礎統計学	1前		2			1					
	応用統計学	1後		2			1					
	情報処理及び実習	1前		2				1				
	数値計算及び実習	2前		2				1				
	基礎物理学Ⅰ及び演習	1前		3			1					
	基礎物理学Ⅱ	1後		2			1					
	基礎物理学Ⅲ	2後		2			1					
応用物理学	1後		2			1			1		担当教員の見直しのため(25)	
基礎化学Ⅰ	1前		2			1				兼1	専任教員の異動により変更(兼担当教員が担当)(24)	
基礎化学Ⅱ	1後		2			1						
基礎化学Ⅲ	2後		2				1 1			兼1 0	専任教員の異動により変更(27) 兼担当教員の異動により変更(26) 担当教員の見直しのため(25)	
基礎生物学	1後		2				1			兼1	専任教員の異動により変更(兼担当教員が担当)(24)	
コミュニケーション	1後	2				3 2 1	1 4 3 5		2 1 2 3	兼3 1 2 4	担当教員の見直しのため(27) 兼担当教員の異動により変更(26) 担当教員の見直しのため(25) 専任教員の異動により変更(24)	
基礎工学	土木環境デザイン	1後	1				1 2					授業運営上の都合により教員変更(24)
	測量学第一	2後	2								兼1	
	測量学第二	3後	2					1			兼1	授業運営上の都合により教員変更(27) 教育内容充実のため(26)
	測量学実習第一	3前	1				1 2		1 2 1		兼2	担当教員の見直しのため(27) 教育内容充実のため(26)
	測量学実習第二	3前	1				1 2		1 2 1		兼2	担当教員の見直しのため(27) 教育内容充実のため(26)
	技術者倫理	3後	1			0 1	1				兼2 0	担当教員の見直しのため(26)
	エンジニアリングデザイン入門 エンジニアリング・デザイン入門	1後	1				2					誤記により訂正(24)
	土木環境科学実験1	2後		1			1 1 1 3	2 3 1 3	3 2 1		兼2 0	専任教員の異動により変更(27) 教育内容充実のため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	土木環境科学実験2	2後		1			1 1 1 3	2 3 1 3	3 1 2		兼2	専任教員の異動により変更(27) 教育内容充実のため(26) 担当教員の見直しのため(25) 科目の表記の修正及び専任教員の異動により変更(24)
	土木環境科学実験1または2	2後	1					4				
	建設材料学及び演習	2前	3				1	2 1				専任教員の異動により変更(27)
	コンクリート構造学第一	2後		2				1				
	建設工学実験Ⅰ	3前	1					1				
	構造力学及び演習第一	2前	3					2				
	構造力学第二	2後		2			1	1				専任教員の異動により変更(27)
	土質力学及び演習第一	2前	3				1	1		1		教育内容充実のため(26) 専任教員の異動により変更(25)
土質力学第二	2後		2				1		1		教育内容充実のため(26)	
建設工学実験Ⅱ	3前	1					1		1		教育内容充実のため(26)	
水理学及び演習第一	2前	3					1			兼2 1	担当教員の見直しのため(27) 専任教員の異動により変更(兼担当教員が担当)(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎工学	水理学第二	2後		2			1			1		兼1 担当教員の見直しのため(27) 教育内容充実のため(26) 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	水理学第三	3前		2		1				1		兼1 担当教員の見直しのため(26) 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	計画学基礎及び演習	2前 2後	3			1	1					教育効果の観点から配当年次を変更(25)
	都市計画	2後		2			1	1				担当教員の見直しのため(25) 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	防災工学Ⅰ	2後		2		1	1			1		教育内容充実のため(25)
	リスク管理・危機管理概論	2後		2		1						
	衛生工学及び演習	2前	3			1						兼1 専任教員の異動により変更(24)
	環境生態学	2後		2			1					兼1 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	環境工学概論	2後		2		1 2	1 1			1		3 兼4 2 教育内容充実のため(26) 担当教員の見直しのため(25) 専任教員の異動により変更(24)
環境工学実験	3前	1			1 2	0 1			1 2		兼4 兼3 担当教員の見直しのため(27) 専任教員の異動により変更(24)	
応用工学	建築学大意 建設学大意	4前		2								兼1 誤記により訂正(24)
	エンジニアリングデザインⅠ エンジニアリング・デザインⅠ	3後	1			2 1	1 2					兼2 担当教員の見直しのため(27) 専任教員の異動により変更(24) 誤記により訂正(24)
	エンジニアリングデザインⅡ エンジニアリング・デザインⅡ	4前	1			1 2	2 3					3 兼4 専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(24) 誤記により訂正(24)
	コンクリート構造学第二	3前		2			1					
	構造動力学	2後		2			1					
	構造設計論	3後		2		1	1					専任教員の異動により変更(27)
	土質工学第一	3前		2		1	1			1		教育内容充実のため(26) 専任教員の異動により変更(25)
	土質工学第二	3後		2			1			1		教育内容充実のため(26)
	水文学	3前		2			1					兼1 2 担当教員の見直しのため(26) 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	総合河川学	3後		2		1						兼1 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	水資源学	3後		2			1					兼1 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	交通計画	2後		2			1					
	交通工学	3前		2		1						
	景観工学	3前		2			1					
	防災工学Ⅱ	3前		2		1	1					担当教員の見直しのため(26)
	水処理工学	3前		2			1					兼1 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
	廃棄物管理工学 水質学	3前		2		1						兼1 専任教員の異動により変更(兼担教員が担当)(24)
環境生物工学	3後	1	2			1					兼1 担当教員の見直しのため(27) 教育効果の観点から単位数及び単位数区分変更(24)	
特殊研究	ベンチャービジネス論	4前		2								兼1
	品質管理概論	4前		2								兼1
	実践ものづくり実習	1後		1								兼1
	PBLものづくり実践ゼミ	3後		2								兼2
	土木環境行政法	4前	1			2						兼4 1 授業運営上の都合により教員変更(27)
	特別講義第一	4前・後 3前・後	1			1						兼1 教育効果の観点から配当年次を変更(26)
	特別講義第二	4前・後 3前・後	1			1						兼1 教育効果の観点から配当年次を変更(26)
	インターンシップⅠ インターンシップⅡ	2・3・4通 2・3・4通		1		1						
	土木環境工学英文購読	3後	1			4 5 6 9	7 9 8 11			4 2 3		兼6 5 専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	土木環境工学卒業論文	4通	6			4 5 6 9	7 9 8 11			4 2 3		兼6 5 専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	その他	キャリア形成実習1	2前			1	4 5 6 9	7 9 8 11			4 2 3	
キャリア形成実習2		2後			1	4 5 6 9	7 9 8 11			4 2 3		兼6 5 専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
キャリア形成実習3		3前			1	4 5 6 9	7 9 8 11			4 2 3		兼6 5 専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
キャリア形成実習4		3後			1	4 5 6 9	7 9 8 11			4 2 3		兼6 5 専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
その他	工業科教育法Ⅰ	3前			2						兼1
	工業科教育法Ⅱ	3後			2						兼1
	教職実践演習(高)	4後			2						兼3 課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27)
	高等学校教育実習	4前			3						兼2 課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27)
	職業指導第一	4前・後			2						兼1
	職業指導第二	4前・後			2						兼1

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
27	51	10	88	25	54	8 10	87 89	
				[Δ2]	[3]	[Δ2]	[Δ1]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学部 応用化学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	別紙(39頁~45頁)のとおり											
基礎ゼミ	応用化学基礎ゼミ	1前	2			6 5	7 8 7		4 3 4		兼 4	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
基礎教育	線形代数学Ⅰ	1前	2								兼 1	
	微分積分学Ⅰ	1前	2								兼 4	
	線形代数学Ⅱ	1後		2							兼 1	
	微分積分学Ⅱ	1後		2							兼 4	
	微分方程式Ⅰ	2前	2								兼 1	
	情報処理及び実習	1後		2							兼 1	
	基礎物理学Ⅰ	1後	2								兼 1	
	基礎物理学Ⅱ	2前	2								兼 1	
	入門物理学	1前		1							1 兼 2 1	授業運営上の都合により教員変更(27) 担当教員の見直しのため(25)
	基礎物理化学Ⅰ	1前	2				1					
	基礎無機化学	1前	2			1						
	基礎有機化学Ⅰ	1前	2			1						
	基礎有機化学Ⅱ	1後	2				1					
	基礎物理化学Ⅱ	1後	2			1	1					専任教員の異動により変更(27)
	基礎分析化学	1後	2				1					
	基礎材料科学	2前	2				1		1			専任教員の異動による変更(25)
	化学実験	2後	2					3 2	1 1	1	兼 3	教育内容充実のため(27) 専任教員の異動による変更(25) 専任教員の異動により変更(27)
ものづくり基礎ゼミ	1後	1				6 5	7 8 7		4 3 4	兼 4	専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)	
機械加工及び実習	2前		2							兼 1		
リスク管理・危機管理概論	2後		2							兼 1		
技術者倫理	2後		2							兼 1		
基礎工学	有機化学第一	2前		2			1					
	物理化学第一	2前		2			1					
	物理化学第二	2前		2		1						
	物理化学演習	3後	1			1	1					
	分析化学	2前		2		1						
	分析化学演習	3後	1						1			
	無機化学	2前		2							兼 2	
	無機化学演習	3前	1						1			
	有機化学第二	2後		2			1					
	量子化学	2後		2			1					
	有機化学演習	3後	1				1					
	化学技術英語	3前 3後		2							兼 1	教育効果の観点から配当年次を変更(27)
	基礎電気化学	2後		2							兼 1	
	高分子合成化学	2後		2		1						
	材料物性	2後		2		1	1					専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	ものづくり発展ゼミⅠ	2前	1				6 5	7 8 7		4 3 4	兼 4	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
	ものづくり発展ゼミⅡ	2後	1				6 5	7 8 7		4 3 4	兼 4	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)
応用化学実験Ⅰ	3前	3				1			1	兼 1 0	担当教員の見直しのため(25)	
応用化学実験Ⅱ	3前	3				1	1		1 2	兼 1	専任教員の異動による変更(24)	
応用化学実験Ⅲ	3後	3				1	2 3				専任教員の異動により変更(27)	
応用化学実験Ⅳ	3後	3				6 5	7 8 7		4 3 4	兼 4	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
応用工学	安全環境化学	2前		2			1							
	化学工学演習	3前		1					1		兼1	専任教員の異動により変更(兼任教員が担当)(24)		
	化学工学	3前		2							兼2			
	無機機器分析	3前		2		1								
	有機機器分析	3後		2			1							
	高分子物性	3前		2		1								
	有機工業化学	3後		2		1								
	無機工業化学	3後		2		1								
実践ものづくり実習	1後		1							兼1				
特殊研究	物質工学研修Ⅰ	4前	1			6 5	7 8 7		4 3 4		兼4	専任教員の異動により変更(27) 専任教員の異動により変更(25) 専任教員の異動により変更(24)		
	物質工学研修Ⅱ	4後	1			6 5	7 8 7		4 3 4	兼4				
	ベンチャービジネス論	4前		2							兼1			
	品質管理概論	4前		2							兼1			
	特別講義第一-A	4前		1							兼2			
	特別講義第一-B	4前		1							兼2			
	特別講義第二-A	4前		1							兼2			
	特別講義第二-B	4前		1							兼2			
	インターンシップⅠ	2・3・4通		1			1							
	インターンシップⅡ	2・3・4通		1			1							
	応用化学卒業論文	4通	6			6 5	7 8 7		4 3 4	兼4				
	その他	リーダー養成特別演習1	1後			1		1					兼4 兼5	担当教員の見直しのため(25) 通常開講(25) 履修者がいないため未開講(24)
		リーダー養成特別演習2	2前			1		1					兼4 兼7	
リーダー養成特別演習3		3前			1						兼4			
リーダー養成特別インターンシップ1		1通			1						兼4 兼5			
リーダー養成特別インターンシップ2		2通			1		1				兼4 兼7			
リーダー養成特別インターンシップ3		3通			1						兼4			
キャリア形成実習1		2前			1	6 5	7 8 7		4 3 4		兼4			
キャリア形成実習2		2後			1	6 5	7 8 7		4 3 4		兼4			
キャリア形成実習3		3前			1	6 5	7 8 7		4 3 4		兼4			
キャリア形成実習4		3後			1	6 5	7 8 7		4 3 4		兼4			
PBLものづくり実践ゼミ		3後			2						兼2			
中等理科教育法Ⅱ 中等理科教育法Ⅰ		3前			2						兼2	課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27) 課程認定審査の段階で名称変更(24)		
教職実践演習(高)		4後			2						兼3			
高等学校教育実習		4前			3						兼2			

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
28	35	14	77	28	35	11 14	74 77	
				[0]	[0]	[Δ3]	[Δ3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学部 先端材料理工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目	別紙(39頁~45頁)のとおり											
基礎ゼミ	先端材料理工学基礎ゼミ	1前	2			5	7 5		2 3		兼 11 兼 40	専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
基礎教育	入門物理Ⅰ	1前	3			1	1		4		兼 0 兼 4	担当教員の見直しのため(26) 専任教員の異動により変更(24)
	入門物理Ⅱ	1後	3			1	4		4		兼 1	担当教員の見直しのため(27)
	初等力学	1後	2	2							兼 1	教育効果の観点から単年度変更(24)
	振動・波動論	2前		2			1					
	物理学実験	2前	2						1		兼 3 兼 2	教育内容充実のため(27)
	入門化学Ⅰ	1前	3				2 4				兼 6 兼 3	教育内容充実のため(27)
	入門化学Ⅱ	1前	2				1				兼 1	
	熱力学	1前	2								兼 1	
	化学実験	1後	2				1				兼 2 兼 4	教育内容充実のため(27)
	化学反応論	2前		2							兼 1	
	微分積分学Ⅰ	1前	2						1			
	微分積分学Ⅱ	1前	2					1				
	線形代数学Ⅰ	1後	2					1				
	線形代数学Ⅱ	2前		2				4			兼 1 兼 0	担当教員の見直しのため(25)
	数学演習Ⅰ	1前	1				1					
	数学演習Ⅱ	1後	1			1						
	情報処理及び実習	1後		2						1		
熱力学演習	1前		1				1			兼 0 兼 4 兼 2	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26)	
基礎工学	ベクトル・フーリエ解析	1後		2		1						
	確率・統計学	2前		2			1		4			
	複素関数論	2前		2		1		4				担当教員の見直しのため(25)
	常微分方程式	2前		2		1						
	偏微分方程式	2後		2		1					兼 1	教育内容充実のため(27)
	化学平衡論	1後	2	2				1				教育効果の観点から単年度変更(24)
	初等量子論	2前		2							兼 1	
	分光学	3後		2				1				
	電磁気学	2後	2			1						
	電磁気学演習	2後		1		1						
	量子力学	2後	2	2		1						教育効果の観点から単年度変更(24)
	量子力学演習	2後		1		4	1				兼 4 兼 0	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)
	固体物理学	3前		2							兼 1	
	基礎材料化学	2後		2							兼 1	
	無機材料工学	3前		2							兼 2	
	材料物性	3後		2							兼 1	
	金属・半導体合成プロセス工学	2後		2		1						
	半導体デバイス工学	3後 3前		2							兼 1	教育効果の観点から配当年次を変更(25)
	基礎工学演習Ⅰ	1後		1		1						
	基礎工学演習Ⅱ	2前		1			1		4			担当教員の見直しのため(25)
プログラミング序論及び実習	2前		2		4	2 4				兼 0 兼 4	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)	
基礎工学実験Ⅰ	2前	2								兼 4		
基礎工学実験Ⅱ	2後	2				2 4		1 2		兼 0 兼 4 兼 0	担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直しのため(25)	
科学技術英語	3前	2			1							
プレゼンテーション	3後	2			1							
応用工学	統計力学	3前 3後		2		1						教育効果の観点及び授業運営上の都合により配当年次を変更(25)
	応用統計学	3前		2		1						
	流体力学	3後		2			1					
	表面科学	3前		2			1					
	結晶科学	3後		2							兼 1	
	固体分析科学	2後		2							兼 1	
	光物性物理学	3後 3前		2		1						教育効果の観点及び授業運営上の都合により配当年次を変更(25)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
応用工学	量子光学	3前		2		1						
	機能デバイス工学	3後		2		1						
	有機材料工学	3後		2			1					
	化学工学	4前		2							兼 2	
	半導体プロセス工学	3後		2		1						
	電気エネルギー変換工学	4前		2							兼 2 1	担当教員の見直しのため(26)
	応用工学実験Ⅰ	3前	2			5	7 5		2 3		兼 11 10	専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
	応用工学実験Ⅱ	3後	2			5	7 5		2 3		兼 11 10	専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
特殊研究	特別講義第一	集中講義		2							兼 1	
	特別講義第二	集中講義		2							兼 1	
	特別講義第三	集中講義		2							兼 1	
	特別講義第四	集中講義		2							兼 1	
	特別講義第五	集中講義		2							兼 1	
	特別講義第六	集中講義		2							兼 1	
	インターンシップⅠ	2・3・4通		1		1						
	インターンシップⅡ	2・3・4通		1		1						
	先端材料理工学研修Ⅰ 先端材料理工学研修Ⅱ 先端材料理工学研修 英語研修	4前 4後 4通	2			5	7 5		2 3		兼 11 10	教育効果の観点及び授業運営上の都合により配当年次を変更(27) 専任教員の異動により変更(26) 包括的な内容にするため科目名変更、及び専任教員の異動により変更(24)
	先端材料理工学卒業論文 先端材料工学卒業論文	4通	6			5	7 5		2 3		兼 11 10	専任教員の異動により変更(26) 包括的な内容にするため科目名変更、及び専任教員の異動により変更(24)
	技術者倫理	3後 4前		2							兼 1	教育効果の観点及び授業運営上の都合により配当年次を変更(26)
その他	実践ものづくり実習	1後			1						兼 1	
	PBLものづくり実践ゼミ	3後			2						兼 2	
	キャリア形成実習1	2前			1	5	7 5		2 3		兼 11 10	専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習2	2後			1	5	7 5		2 3		兼 11 10	専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習3	3前			1	5	7 5		2 3		兼 11 10	専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
	キャリア形成実習4	3後			1	5	7 5		2 3		兼 11 10	専任教員の異動により変更(26) 専任教員の異動により変更(24)
	中等数学科教育法Ⅰ	3前			2						兼 1	
	中等理科教育法Ⅱ 中等理科教育法Ⅰ	3前			2						兼 2	課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27) 課程認定審査の段階で名称変更(24)
	代数学	2前			2						兼 1	
	幾何学	2後			2						兼 1	
	教職実践演習(高)	4後			2						兼 3	課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27)
	高等学校教育実習	4前			3						兼 2	課程認定審査の段階で全学開講教職科目に科目区分を変更(27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
26	44	12	82	23	47	9 12	79 82	
				[Δ3]	[3]	[Δ3]	[Δ3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<工学部>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
【全学共通教育科目】													
全学共通教育科目	生活と健康Ⅰ	1前	1			3 4	3 4					17 兼16 20	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 誤記の修正(25)
	生活と健康Ⅱ	1後	1			4 3	3 2					16 兼17 16	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 誤記の修正(25)
	人間形成論	1前 1-2前		2		1 9 10						13 兼14 13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 担当教員の見直し、誤記の修正(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	大学生のエンプロイアビリティ論 エンプロイアビリティ論 職業選択支援プログラム	1後 1-2前後		2		1						兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目名称及び配当年次を変更(24)
	キャリア形成のための作文演習	1前後 1-2前後		2		1	1					兼2 3	担当教員の見直し、誤記の修正(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	キャリア形成論	1前後		2		1						兼1	誤記の修正(25)
	新聞から世界を読む	1後		2								兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	英語A初級 英語AⅠ	1前	2			2 4	2 4					兼7 8	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更、誤記の修正(25)
	英語A中級 英語AⅡ	1前	2			1	3					兼9 10	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更、誤記の修正(25)
	英語A上級 英語AⅢ	1前	2				4 2					兼5	カリキュラムの整備により科目名称を変更、誤記の修正(25)
	英語B初級 英語BⅠ	1後	2			1	3					兼7 8	担当教員の見直しのため(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更、誤記の修正(25)
	英語B中級 英語BⅡ	1後	2			2 1	2 3					兼10	カリキュラムの整備により科目名称を変更、誤記の修正(25)
	英語B上級 英語BⅢ	1後	2			1	4 2					兼5	カリキュラムの整備により科目名称を変更、誤記の修正(25)
	English for Studying Abroad I TOEFLⅠ	2-3-4前 1-2-3-4前		4			1					兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 誤記の修正(25)
	English for Studying Abroad II TOEFLⅡ	2-3-4後 1-2-3-4後		4			1					兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 誤記の修正(25)
	総合英語	2-3-4前後 2前後		2		2	7 8					9 兼12 13	担当教員の見直し、カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直し、誤記の修正(25)
	英語リーディング・ライティング*	2-3-4前後 2前後		2		1	5 4					8 兼14 12	担当教員の見直し、カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直し、誤記の修正(25)
	英語リーディング・ライティング* (上級)	2-3-4前後 2前後		2			2					兼4	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 誤記の修正(25)
	英語オーラルコミュニケーション	2-3-4前後 2前後		2			3 4					8 兼9 8	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直し、カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 担当教員の見直し、誤記の修正(25)
	英語オーラルコミュニケーション (上級)	2-3-4前後 2前後		2			2					兼3	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) 誤記の修正(25)
	e-ラーニングⅠ	1-2-3-4前		1			1					兼1	誤記の修正(25)
	e-ラーニングⅡ	1-2-3-4後		1			1					兼1	誤記の修正(25)
	e-ラーニングⅢ	2-3-4前 1-2-3-4前		1			1						カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	e-ラーニングⅣ	2-3-4前 1-2-3-4前		1			1						カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により配当年次を変更(24)
	Intensive15-Ⅰ (英語)	1-2-3-4前		1			1 2						カリキュラムの整備により廃止(25)
	Intensive15-Ⅱ (英語)	1-2-3-4前		1			1 2						カリキュラムの整備により廃止(25)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通 教育 科目	Intensive90-I (英語)	2-3-4前		6			1					カリキュラムの整備により廃止(25)
	Intensive90-II (英語)	2-3-4後		6			1					カリキュラムの整備により廃止(25)
	Intensive60-I (英語)	1-2-3-4前 1-2-3前 2-3-4前		4							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	Intensive60-II (英語)	1-2-3-4後 1-2-3後 2-3-4後		4							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	ドイツ語初級 I	1前		2			1				兼7 9	担当教員の見直しのため(26) 誤記の修正(25)
	ドイツ語初級 II	1後		2			1				兼7 9	担当教員の見直しのため(26) 誤記の修正(25)
	ドイツ語演習 I	1前		2			1				兼3 2	担当教員の見直しのため(26) 誤記の修正(25)
	ドイツ語演習 II	1後		2			1				兼3 2	担当教員の見直しのため(26) 誤記の修正(25)
	ドイツ語中級 I (総合)	2-3-4前 2前		2							兼6 5	担当教員の見直し、カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	ドイツ語中級 II (総合)	2-3-4後 2後		2							兼5 6 5	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直し、カリキュラムの整備により配当年次を変更(26)
	ドイツ語中級 I (コミュニケーション)	2前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	ドイツ語中級 II (コミュニケーション)	2後		2							兼1	他の科目で補えるため未開講(27) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	ドイツ語Intensive90-I	2-3-4前 2-3-4前		6			1				兼2	カリキュラムの整備により廃止(26) カリキュラムの整備により開講年次変更、誤記の修正(25)
	ドイツ語Intensive90-II	2-3-4後 2-3-4後		6			1				兼2	カリキュラムの整備により廃止(26) カリキュラムの整備により開講年次変更、誤記の修正(25)
	ドイツ語Intensive60-I	2-3-4前 2-3前 1-2前		4							兼2	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	ドイツ語Intensive60-II	2-3-4後 2-3後 1-2後		4							兼2	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	フランス語初級 I	1前		2			1 2		1		兼3	誤記の修正(25)
	フランス語初級 II	1後		2			1 2		1		兼3	誤記の修正(25)
	フランス語演習 I	1前		2			1				兼1	誤記の修正(25)
	フランス語演習 II	1後		2			1				兼1	誤記の修正(25)
	フランス語中級 I (総合)	2前		2			1				兼1	誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級 II (総合)	2後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級 I (コミュニケーション)	2前		2					1		兼2 4	担当教員の見直しのため(27) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級 II (コミュニケーション)	2後		2					1		兼2 4	担当教員の見直しのため(27) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級演習 I	2-3-4前		2			1				兼1	誤記の修正(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語中級演習 II	2-3-4後		2			1				兼1	誤記の修正(26) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive90-I	2-3-4前		6			1		1			カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive90-II	2-3-4後		6			1		1			カリキュラムの整備により廃止(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	フランス語Intensive60-I	2-3-4前 2-3前 2-3-4前		4 6							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更、誤記の修正(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	フランス語Intensive60-II	2-3-4後 2-3後 2-3-4後		4 6							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(27) カリキュラムの整備により配当年次を変更、誤記の修正(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
中国語初級 I	1前		2			1				兼9 12 13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 誤記の修正(25)	
中国語初級 II	1後		2			1				兼9 12 13	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直し、誤記の修正(25)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通教育科目	中国語演習Ⅰ	1前		2							兼2		
	中国語演習Ⅱ	1後		2							兼 ¹ ₂	担当教員の見直しのため(27)	
	中国語中級Ⅰ(総合)	2前		2			1				兼3	誤記の修正(25)	
	中国語中級Ⅰ(コミュニケーション)	2前		2							兼3		
	中国語中級Ⅱ(総合)	2後		2			1				兼3	誤記の修正(25)	
	中国語中級Ⅱ(コミュニケーション)	2後		2							兼3		
	中国語Intensive60-I	2・3・4前		4			1				兼2	誤記の修正(25)	
	中国語Intensive60-II	2・3・4後		4			1				兼2	誤記の修正(25)	
	スペイン語初級Ⅰ	1前		2			1				兼 ⁴ ₃ +	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語初級Ⅱ	1後		2			1				兼 ⁴ ₃ +	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語演習Ⅰ	1前		2			1				兼 ² ₊	担当教員の見直しのため(27) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語演習Ⅱ	1後		2			1				兼 ² ₊	担当教員の見直しのため(27) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	スペイン語中級Ⅰ	2前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅱ	2後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅰ(総合A)	2・3前 2後		2							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅱ(総合A)	2・3後 2後		2							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅰ(総合B)	2・3前 2後		2							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	スペイン語中級Ⅱ(総合B)	2・3後 2後		2							兼1	カリキュラムの整備により配当年次を変更(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)	
	日本文学作品論Ⅱ	1・2・3・4後		2			1						担当教員が退職したため、削除(24)
	国語表現	1・2・3・4前		2			1				兼1	誤記の修正(25)	
	日本古代の政治と文化	1・2・3・4後		2			1	1			兼1	誤記の修正(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(24)	
	考古学について	1・2・3・4前		2							兼1	誤記の修正(25)	
	メディア社会における心理 メディアと人間	1・2・3・4後		2			1				兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) 誤記の修正(25)	
	子ども文化 子どもと文化	1・2・3・4後		2			1				兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) 誤記の修正(25)	
	ヨーロッパ中世の諸相	1・2・3・4後		2				1			兼1	誤記の修正(25)	
	山梨大学から見る大学の歴史と現在	1・2・3・4後		2			1				兼1	誤記の修正(25)	
	教育史を通して見る日本の近代現代	1・2・3・4前		2				1			兼1	誤記の修正(25)	
	小説における〈他者〉の問題	1・2・3・4後		2			1				兼1	誤記の修正(25)	
	ものといのち	1・2・3・4後		2			1				兼1	誤記の修正(25)	
	源氏物語を読む	1・2・3・4後		2				1			兼1	誤記の修正(25)	
	芸術の思想 芸術における言語と身体 の思想 文化記号論	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2			1				兼1	カリキュラムの整備により科目名称及び開講学期 を変更(26) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目名称を変更(24)	
	日本語表現の現在	1・2・3・4後		2				1			兼1	誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
	経済学の目で見ると	1・2・3・4後		2			1				兼1	誤記の修正(25)	
	日本国憲法	1・2・3・4後		2				1			兼3	誤記の修正(25)	
	日本の近代文学	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)	
	日本服飾史	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)	
中国の古典文学を読む	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)		
スポーツ映画に見る現代社会	1・2・3・4後		2				1			兼4	カリキュラムの整備により廃止(26) 誤記の修正(25)		
サッカー文化学	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)		
映画論的地域研究入門	1・2・3・4後		2							兼1	他の科目で補えるため未開講(27) カリキュラムの整備により科目を追加(26)		
住まいの地方性	1・2・3・4前		2			1				兼1	通常開講(27) 他の科目で補えるため未開講、誤記の修正(25)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全 学 共 通 教 育 科 目	山梨学	1・2・3・4前		2			1					兼 1 9	担当教員の見直し、誤記の修正 (25)
	社会変動と人間	1・2・3・4後		2		1							カリキュラムの整備により科目を廃止 (24)
	特別支援教育総論	1・2・3・4前		2		1						兼 1	誤記の修正 (25)
	現代日本の政治と政策	1・2・3・4後		2		1	1					兼 1	他の科目で補えるため未開講 (27) 他の科目で補えるため未開講、誤記の修正 (25) カリキュラム整備により担当教員を変更 (24)
	資本市場の役割と証券投資 投資と資産形成	1・2・3・4前		2		1						兼 1 15	カリキュラムの整備により科目名称の変更、担当 教員の見直し、誤記の修正 (25)
	ラテンアメリカから見た世界	1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (27)
	消費生活論	1・2・3・4前		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加 (26)
	理系女性のキャリア形成	1・2・3・4前		2		1 2 3	1		1	2		兼 1 10 9	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直しのため (26) 誤記の修正 (25) カリキュラム整備により担当教員を変更 (24)
	科学・デザイン・コミュニケーション	1・2・3・4前		2		1 1						兼 5 4 1	担当教員の見直しのため (27) 担当教員の見直し、誤記の修正 (26) 誤記の修正 (25)
	生活設計論	1・2・3・4前		2			1					兼 1	誤記の修正 (25)
	企業概論	1・2・3・4前		2								兼 1	カリキュラムの整備により廃止 (26)
	経営分析のためのデータ解析	1・2・3・4前		2			1					兼 1	他の科目で補えるため未開講 (27) 他の科目で補えるため未開講 (26) 他の科目で補えるため未開講、誤記の修正 (25)
	現代教育政策論 現代社会と教育	1・2・3・4前		2			1			1		兼 2	カリキュラムの整備により科目名称の変更 (26) 誤記の修正 (25)
	こころと体の障害の理解と支援	1・2・3・4後		2				1				兼 1	他の科目で補えるため未開講 (27) 他の科目で補えるため未開講 (26) 誤記の修正 (25)
	環境政策の展開	1・2・3・4前		2					1			兼 1	誤記の修正 (25)
	現代子ども論 映像で考える子どもと教育	1・2・3・4前		2			1					兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) 誤記の修正 (25)
	人間理解の心理学	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2				1	1			兼 2 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (27) 担当教員の見直しのため (27) 誤記の修正 (25) カリキュラム整備により担当教員を変更 (24)
	放射線と現代	1・2・3・4後		2		1 4 3	1					兼 4	誤記の修正 (25) カリキュラム整備により担当教員を変更 (24)
	教育問題から見た現代社会	1・2・3・4後		2				1				兼 1	誤記の修正 (25)
	保育・子育ての現在	1・2・3・4後		2								兼 1 2	担当教員の見直しのため (25)
	哲学のさまざまな問題	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26)
	経営管理(マネジメント)	1・2・3・4後		2									カリキュラムの整備により廃止 (25)
	子どもとジェンダー	1・2・3・4前		2				1				兼 1	誤記の修正 (25)
	スポーツジェンダー論 スポーツとジェンダー	1・2・3・4前		2								兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) カリキュラムの整備により科目を追加 (25)
	思考の整理術	1・2・3・4前		2			1					兼 5 1	担当教員の見直しのため (26) 誤記の修正 (25) カリキュラムの整備により科目を追加 (24)
	科学技術史入門	1・2・3・4後		2			1					兼 1	誤記の修正 (25)
	天文学への誘い	1・2・3・4後		2								兼 3	
	確率的見方	1・2・3・4後		2				1				兼 1	誤記の修正 (25)
	ヒトに至る生命の歴史	1・2・3・4前		2			1					兼 1	誤記の修正 (25)
	生物学の様子	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2								兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更 (26)
	染色の科学	1・2・3・4後		2			1					兼 1	担当教員が退職したため廃止 (26) 誤記の修正 (25)
	自然に対する子どもの眼差し 子どもと自然	1・2・3・4後		2			1					兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更 (26) 誤記の修正 (25)
	材料と技術	1・2・3・4前		2			1					兼 1	誤記の修正 (25)
家庭の中のエレクトロニクス	1・2・3・4前		2			3 2		1	1				担当教員の見直しのため (26) 誤記の修正 (25)
人間とコンピュータ	1・2・3・4後		2			2 1	2 3 4						担当教員の見直しのため (26) 誤記の修正 (25)
現代生活とバイオテクノロジー	1・2・3・4後		2				1				兼 10 9	担当教員の見直しのため (27) 誤記の修正 (25)	

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全 学 共 通 教 育 科 目	地球環境化学とエネルギー 【環】地球環境化学とエネルギー	1・2・3・4後		2		4	3 4				兼1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) 誤記の修正(25)
	ワインと宝石	1・2・3・4前		2		4 3 5	4 5 6 7				兼6	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直しのため(26) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(24)
	これからの機械技術	1・2・3・4前		2		2 3	4 2 1				兼4	担当教員の見直し、誤記の修正(26) 誤記の修正(25)
	人間と機械	1・2・3・4後		2		2	2					カリキュラムの整備により廃止(25)
	メカトロニクス	1・2・3・4後		2		3 4	1				兼4	担当教員の見直しのため(27) 担当教員の見直し、誤記の修正(26) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	地球の見方	1・2・3・4前		2			1				兼1	誤記の修正(25)
	医工学と現代社会	1・2・3・4前		2		1					兼1	誤記の修正(25)
	一般相対性理論への招待	1・2・3・4後		2			1				兼1	誤記の修正(25)
	クリスタルサイエンス	1・2・3・4後		2		4 3	5		2 3		兼10 11	担当教員の見直しのため(27) 誤記の修正(26) 担当教員の見直し、誤記の修正(25)
	ワイン製造及び体験実習	1・2・3・4前		2			1				兼2 1	担当教員の見直し、誤記の修正(25)
	生命科学と社会	1・2・3・4前		2		1					兼1	誤記の修正(25)
	数理の発想でみる自然・社会・人間	1・2・3・4前		2			1				兼1	誤記の修正(25)
	電気とコンピュータ	1・2・3・4後		2		1						担当教員が退職したため廃止(25)
	水圏植物の生物学	1・2・3・4後		2			1				兼1	誤記の修正(25)
	数学に対する子どもの眼差し 子どもと事象の数理	1・2・3・4後		2			1				兼1	他の科目で補えるため未開講(27) カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) 誤記の修正(25)
	数学的見方	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2			1				兼1	カリキュラムの整備により開講学期を変更、誤記の修正(25)
	依存の科学	1・2・3・4前		2		1					兼1	誤記の修正(25)
	ガイア仮説と地球システム科学	1・2・3・4前		2			1				兼1	誤記の修正(25)
	発達と障害	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	幼児期における特別支援教育	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	科学に対する子どもの眼差し	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	地球科学の未解決問題	1・2・3・4前		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	e-ラーニングを用いた自主学习	1・2・3・4後		2		1						カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	離散数学入門	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	プラスチックの科学	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	魔方陣から現代数学へ エントロピーと環境問題 魔方陣から現代数学へ	1・2・3・4前		2		1					兼1	他の科目で補えるため未開講(27) 他の科目で補えるため未開講(26) カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	物理パズルで親しみ身近な自然現象	1・2・3・4前		2			1				兼1	誤記の修正(25)
	自然災害と都市防災	1・2・3・4前		2		1	3 1 3					誤記の修正(25) カリキュラムの整備により担当教員を変更(24)
頭と身体の運動学	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2			1				兼1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(26) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
高分子材料化学	1・2・3・4前		2		1					兼4	担当教員が退職したため廃止(26) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
光る分子の科学	1・2・3・4前		2			1				兼1	誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)	
生命科学演習	1・2・3・4後		2							兼1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)	
ウイルスの生命科学 ウイルスと人間 ウイルスと人間B	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2		1	1				兼1	通常開講(27) 他の科目で補えるため未開講(26) カリキュラムの整備により開講学期及び科目名称を変更(26) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目名を変更(24)	

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 教養 共通 教育 科目	心理学への誘い	1・2・3・4前後		2							兼 2 1	担当教員の見直しのため(26)
	音楽の即興表現	1・2・3・4前		2		1					兼 1	誤記の修正(25)
	死生学入門	1・2・3・4前		2		1					兼 1	誤記の修正(25)
	健康科学	1・2・3・4後		2		1					兼 4	担当教員が退職したため廃止(26) 誤記の修正(25)
	スポーツマッサージ入門	1・2・3・4前		2		1					兼 1	誤記の修正(25)
	感性による造形	1・2・3・4前		2		1					兼 1	誤記の修正(25)
	スポーツとダイエットの科学	1・2・3・4前		2			1				兼 1	誤記の修正(25)
	現代美術入門	1・2・3・4後 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(27) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	幾何学的デザイン入門 かたちの不思議と幾何学的デザイン	1・2・3・4後		2		1					兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26) 誤記の修正(25)
	生命倫理	1・2・3・4前		2		1					兼 1	誤記の修正(25)
	医療の最先端	1・2・3・4前		2		1					兼 1	誤記の修正(25)
	社会における看護と介護	1・2・3・4後		2		2					兼 1 13	担当教員の見直し、誤記の修正(25)
	社会の中の医療・医学	1・2・3・4後		2		1					兼 1	誤記の修正(25)
	人体の生命科学	1・2・3・4前		2				1	1		兼 1 12	担当教員の見直し、誤記の修正(25)
	アウトドアパースーツⅠ	1・2・3・4前		2		1					兼 1	誤記の修正(25)
	アウトドアパースーツⅡ	1・2・3・4後		2		1					兼 1	誤記の修正(25)
	写真の歴史	1・2・3・4後		2			1				兼 1	誤記の修正(25)
	健康社会学	1・2・3・4後		2			1				兼 4	カリキュラムの整備により廃止(26) 誤記の修正(25)
	人間理解の心理学 社会と文化の心理学	1・2・3・4前後 1・2・3・4後		2					1		兼 2 4	担当教員の見直し、カリキュラムの整備により科目名称及び開講学期を変更(26) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	吹奏楽の楽しみ アンサンブルの楽しみ	1・2・3・4後		2							兼 1	他の科目で補えるため未開講(27) カリキュラムの整備により科目を変更(24)
	球技スポーツの魅力	1・2・3・4前		2							兼 1	
	運動遊び 運動と遊び	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称を変更(26)
	スポーツ考現学への誘い	1・2・3・4前		2								担当教員が退職したため廃止(25)
	健康なからだ論	1・2・3・4前		2							兼 4	カリキュラムの整備により廃止(26)
	パーソナリティ心理学	1・2・3・4前		2			1				兼 1	担当教員が退職したため廃止(27) 誤記の修正(25)
	こころの健康づくり	1・2・3・4前		2				1			兼 1	他の科目で補えるため未開講(27) 他の科目で補えるため未開講(26) 誤記の修正(25)
	ミュージカルを歌おう	1・2・3・4前		2			1				兼 1	誤記の修正(25)
	余暇社会の身体活動	1・2・3・4後		2							兼 1	
	ピアノを弾こう	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2			1				兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(26) 誤記の修正(25)
	音楽の分析と表現	1・2・3・4後		2			1				兼 1	誤記の修正(25)
	ダンス・セラピー	1・2・3・4後		2			1				兼 1	誤記の修正(25)
	高山教授の医学的教養講座	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	非行・問題行動の心理学	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	健康とスポーツの科学	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
	東洋音楽鑑賞	1・2・3・4前		2			1				兼 1	誤記の修正(25)
	異文化間コミュニケーション	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2			1				兼 1	カリキュラムの整備により開講学期を変更(27) 誤記の修正(25)
	日本事情Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	日本事情Ⅱ	1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(26)
	アジア・アフリカの人々 アジアの人々	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目名称及び開講学期を変更(26)
	Language and Communication across Cultures	1・2・3・4前		2							兼 1	カリキュラムの整備により科目を追加(27)
ボランティア理論	1・2・3・4前後		2							兼 1		
世界近現代史の潮流と日本	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2			1				兼 1	担当教員が退職したため未開講(27) カリキュラムの整備により開講学期を変更(26) 誤記の修正(25)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通教育科目 教養教育科目	現代政治の 이슈ー	1・2・3・4後		2			1					兼1 誤記の修正(25)
	Intercultural Understanding through Images 映像を通じて見る異文化	1・2・3・4前		2		1	1					兼6 カリキュラムの整備により科目名称の変更、誤記の修正(25)
	電子音楽の世界	1・2・3・4後		2								兼1
	実演・楽器学～管弦打楽器の特性と実践的編曲法～ 実演・楽器学～管弦打楽器の特性と実践的編曲法～	1・2・3・4後 1・2・3・4後		2 2								兼1 兼4 カリキュラムの整備により科目を追加(27) カリキュラムの整備により廃止(26) 誤記の修正(25) カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	暮らしの中の美と形	1・2・3・4後		2								兼1 カリキュラムの整備により科目を追加(24)
	有用微生物利用学	1・2・3・4前		2								兼3 兼4 担当教員の見直しのため(27) カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	理系のための英語論文の書き方	1・2・3・4後		2								兼1 カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	生命を科学する	1・2・3・4後		2								兼4 カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	乳から見える世界いろいろ	1・2・3・4前		2								兼2 カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	自然科学と環境	1・2・3・4後		2								兼4 カリキュラムの整備により科目を追加(25)
	環境問題という問題	1・2・3・4前		2								兼1 カリキュラムの整備により科目を追加(25)
生活トラブルと法	1・2・3・4後		2								兼1 カリキュラムの整備により科目を追加(25)	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
8	149	0	156	8	190	0	198	
				[0]	[40]	[0]	[40]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	住まいの地方性	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
2	現代日本の政治と政策	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
3	経営分析のためのデータ解析	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
4	ドイツ語中級Ⅱ（コミュニケーション）	2	2後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
5	こころの健康づくり	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
6	魔方陣から現代数学へ	2	1・2・3・4前	一般	選択	他の科目で補うことができるため
7	ウイルスの生命科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
8	こころと体の障害の理解と支援	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
9	映画論的地域研究入門	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
10	数学に対する子どもの眼差し	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
11	吹奏楽の楽しみ	2	1・2・3・4後	一般	選択	他の科目で補うことができるため
12	世界近現代史の潮流と日本	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	日本文学作品論Ⅱ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
2	社会変動と人間	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
3	e-ラーニングⅢ	1	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
4	e-ラーニングⅣ	1	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
5	Intensive15-Ⅰ（英語）	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
6	Intensive15-Ⅱ（英語）	1	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
7	Intensive90-Ⅰ（英語）	6	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
8	Intensive90-Ⅱ（英語）	6	2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
9	フランス語Intensive90-Ⅰ	6	2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
10	フランス語Intensive90-Ⅱ	6	2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
11	経営管理（マネジメント）	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
12	人間と機械	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
13	電気とコンピュータ	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
14	スポーツ考現学への誘い	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため
15	ドイツ語Intensive90-Ⅰ	6	3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
16	ドイツ語Intensive90-Ⅱ	6	3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
17	スポーツ映画に見る現代社会	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
18	企業概論	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
19	染色の科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
20	高分子材料化学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため
21	健康科学	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職のため
22	健康社会学	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
23	健康なからだ論	2	1・2・3・4前	一般	選択	カリキュラムの整備のため
24	楽譜→楽文字→管弦打楽器の特性と実践的編曲法	2	1・2・3・4後	一般	選択	カリキュラムの整備のため
25	パーソナリティ心理学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職のため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通教育科目の見直しを行ったこと及び全学共通教育科目を担当していた兼任教員が退職したことにより、当該科目を未開講及び廃止することになった。
当該科目は全学共通教育科目における教養教育科目部門に位置付ける科目であり、履修上の影響は無いと考える。
なお、学生に対しては、学生便覧及びホームページ等により周知済みである。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{34}{156} = 0.21$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

該当なし

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校舎敷地	㎡	㎡	㎡	㎡		
	運動場用地	㎡	㎡	㎡	㎡		
	小 計	㎡	㎡	㎡	㎡		
	そ の 他	㎡	㎡	㎡	㎡		
	合 計	㎡	㎡	㎡	㎡		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		㎡	㎡	㎡	㎡		
		(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)		
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
		室	室	室	室	室	
				(補助職員 人)	(補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		
					室		
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	〇〇学部	〔 〕 ([])	〔 〕 ([])	〔 〕 ([])	()	()	()
	計	〔 〕 ([])	〔 〕 ([])	〔 〕 ([])	()	()	()
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
		㎡					
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				
		㎡					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	経費の見積り	教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	山梨大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育人間科学部									
学校教育課程	4	125	—	500	学士(教育)	1.05	平成10年度	山梨県甲府市武田4-4-37	
生涯学習課程	4	20	—	80	学士(教養)	1.10	〃		
国際共生社会課程	4	—	—	—	学士(教養)	—	〃		平成24年度より学生募集停止
ソトサインズ課程	4	—	—	—	学士(教養)	—	〃		〃
医学部									
医学科	6	125	—	750	学士(医学)	1.00	昭和55年度	山梨県中央市下河東1110番地	
看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	1.01	平成7年度		
工学部									
機械工学科	4	55	3年次10	240	学士(工学)	1.10	平成24年度	山梨県甲府市武田4-3-11	
電気電子工学科	4	55	3年次5	230	学士(工学)	1.08	〃		
コンピュータ理工学科	4	55	3年次5	230	学士(工学)	1.08	〃		
情報メディア工学科	4	55	—	220	学士(工学)	1.07	〃		
土木環境工学科	4	55	—	220	学士(工学)	1.06	〃		
応用化学科	4	55	—	220	学士(工学)	1.09	〃		
先端材料理工学科	4	35	—	140	学士(工学)	1.09	〃		
機械システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成元年度		平成24年度より学生募集停止
電気電子システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10年度		〃
コンピュータメディア工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	〃		〃
土木環境工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成元年度		〃
応用化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成16年度		〃
生命工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	〃		〃
循環システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10年度		〃
生命環境学部									
生命工学科	4	35	—	140	学士(生命工学)	1.06	平成24年度	山梨県甲府市武田4-目4-37	
地域食物科学科	4	30	—	120	学士(農学)	1.13	〃		
環境科学科	4	30	—	120	学士(環境科学)	1.11	〃		
地域社会システム学科	4	35	—	140	学士(社会科学)	1.07	〃		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
- ・ ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・ ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
44	52	0	29	125	44	53	0	32	129	65	0	65	0
(43)	(52)	(0)	(25)	(120)	[0]	[1]	[0]	[3]	[4]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			該当なし	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学部>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

該当なし

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

該当なし

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(有) ・ (無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成27年9月1日公表予定)